



エクステンションセンター
2019年度公務員講座

BKC
法文系公務員講座

シラバス

BKCエクステンションセンター

BKC法文系公務員講座（ベーシックコース・アドバンストクラス）

-目次-

区分	科目区分	科目	講師	ページ		
ベーシック （基礎科目） コース	教養科目	一般知識（人文科学）	橘	3		
		一般知識（自然科学）	平井	4		
		一般知識演習	平井・橘	5		
		一般知識（地方上級対策）	永田	6		
		数的処理	李	7		
		数的処理演習	李	8		
		文章理解	根岸	9		
		時事教養	根岸	10		
		論文対策	根岸	11		
		【WEB】一般知識（数学・物理）	新垣	12		
		【WEB】社会科学	黒田・山本・小沼・瀬田	13		
	専門科目	憲法基礎	富田	14		
		憲法応用	富田	15		
		憲法演習	富田	16		
		民法基礎	富田	17		
		民法応用	富田	18		
		民法演習	富田	19		
		憲法・民法記述対策	富田	20		
		行政法	橘	21		
		経済理論 Input	平野	22		
		経済理論実践演習	平野	23		
		経済理論 Output	平野	24		
		経済理論記述対策	平野	25		
		財政学・経済事情	平野・近藤	26		
		経営学	與原	27		
		政治学	吉田	28		
		行政学	吉田	29		
		社会学	吉田	30		
		国際関係	吉田	31		
		社会政策	吉田	32		
		労働法	井村	33		
		統計・計量経済学	近藤	34		
		【WEB】刑法	富田恒明	35		
		【WEB】商法	吉原	36		
		【WEB】会計学	伊東	37		
		【WEB】労働基準監督官対策	富田・瀬田	38		
		【WEB】裁判所職員対策	富田	39		
		アドバンスト （応用科目） クラス	教養科目	数的処理上級演習	李	40
			専門科目	経済理論発展・総合職	平野	41
国際経済学	平野			42		
財政学応用・経済政策	平野			43		
経済史	近藤			44		
統計・計量経済学応用	近藤		45			
政策系	政策立案講義 ※応用科目を1科目以上受講した受講者は必須		近藤	46		

BKC法文系公務員講座（ベーシックコース・アドバンストクラス）テキスト一覧

★リンクショップでのテキスト販売は各科目の講義開始日約2週間前から開始します。各自買忘れのないよう注意してください！

科目名	テキスト名	出版社	出版年度	著者 (原簿)	税込価格(予定)	販売開始 予定日	講義開始 予定日
一般知識(人文科学)	公務員Vテキスト 人文科学(上)	TAC出版	2013	実施日の最新のものを使用	¥2,376	2019/5/7	2019/5/21
	公務員Vテキスト 人文科学(下)	TAC出版	2013	実施日の最新のものを使用	¥2,376		
	20公務員V問題集 人文科学(上)	TACオリジナル	2019		¥1,360		
	20公務員V問題集 人文科学(下)	TACオリジナル	2019		¥1,360		
一般知識(自然科学) ※【Web】一般知識(数学・物理)テキストと共通	公務員Vテキスト 自然科学	TAC出版	2013	実施日の最新のものを使用	¥2,160	2020/1/6	2020/1/10
	20公務員V問題集 自然科学	TACオリジナル	2019		¥1,360		
一般知識演習	オリジナルレジュメ						2020/4/3
一般知識(地方上級対策)	オリジナルレジュメ						2020/4/18
数的処理	オリジナルテキスト判断推理	オリジナル	2019	01-HS12	¥1,543	2019/5/7	2019/5/20
	オリジナルテキスト数的推理	オリジナル	2019	01-SSU9	¥1,543		
	オリジナルテキスト図形	オリジナル	2019	01-ZU14	¥1,543		
	オリジナル問題集(抜き込み冊子付)	オリジナル	2019	02-SSY16(組み込み冊子・02-SSY16F)	¥2,057		
数的処理演習	オリジナルレジュメ 2017、2018、2019年度本試験問題をレジュメの形で配布						2019/11/11
文章理解	文章理解(オリジナルテキスト)	ワークアカデミー	2019		¥2,160	2019/8/6	2019/8/20
時事教養	速攻の時事 平成32年度(変更の可能性あり)	実務教育出版	未発売・2020/2予定 (価格は前年版)		¥1,080	2020/2/3	2020/2/17
論文対策	論文試験 頻出テーマのまとめ方 2020年度	実務教育出版	2019	978-4788976733	¥1,512	2020/1/21	2020/2/4
【Web】一般知識(数学・物理) ※一般知識(自然科学)テキストと共通	公務員Vテキスト 自然科学	TAC出版	2013	実施日の最新のものを使用	¥2,160	2019/6/6	2019/6/20
	20公務員V問題集 自然科学	TACオリジナル	2019		¥1,360		
【Web】社会科学	公務員Vテキスト 社会科学	TAC出版	2017	実施日の最新のものを使用	¥2,160	2019/7/11	2019/7/25
	20公務員V問題集 社会科学	TACオリジナル	2019		¥1,360		
憲法基礎	憲法講義案Ⅰ 憲法講義案Ⅱ	愛甲社	2017	1版	Ⅰ ¥1,823 Ⅱ ¥1,688	2019/5/11	2019/5/25
憲法応用							2019/8/31
憲法演習							2020/1/11
民法基礎	民法講義案Ⅰ 民法講義案Ⅱ	愛甲社	2017	1版	Ⅰ ¥2,496 Ⅱ ¥2,631	2019/5/7	2019/5/18
民法応用							2019/11/2
民法演習							2020/2/15
憲法・民法記述対策	憲法講義案Ⅰ・Ⅱ 民法講義案Ⅰ・Ⅱ	愛甲社	2017	1版	上記と同様	上記と同様	2020/3/14
行政法	公務員Vテキスト 行政法	TAC出版	2014	実施日の最新のものを使用	¥2,376	2019/10/22	2019/11/5
	20公務員V問題集 行政法	TACオリジナル	2019		¥1,360		
経済理論 Input	オリジナルレジュメ						2019/5/22
経済理論実践演習	オリジナルレジュメ						2020/2/7
経済理論 Output	オリジナルレジュメ						2019/6/20
経済理論記述対策	オリジナルレジュメ						2020/3/19
財政学・経済事情	財政学・20財政学テキストレジュメ	TACオリジナル	2019		¥1,360	2019/11/6	2019/11/20
	財政学・20公務員V問題集 財政学	TACオリジナル	2019		¥1,360		
	経済事情・オリジナルレジュメ						
経営学	公務員Vテキスト 経営学	TAC出版	2011	実施日の最新のものを使用	¥1,944	2019/10/11	2019/10/25
	20公務員V問題集 経営学	TACオリジナル	2019		¥1,360		
政治学	20公務員V問題集 政治学	TACオリジナル	2019		¥1,360	2019/8/5	2019/8/19
行政学	20公務員V問題集 行政学	TACオリジナル	2019		¥1,360	2019/9/13	2019/9/27
社会学	20公務員V問題集 行政学	TACオリジナル	2019		¥1,360	2020/2/17	2020/3/2
国際関係	20公務員V問題集 国際関係	TACオリジナル	2019		¥1,360	2020/3/11	2020/3/25
社会政策	20公務員V問題集 社会政策	TACオリジナル	2019		¥1,360	2020/3/16	2020/3/30
労働法	公務員Vテキスト 労働法	TAC出版	2014	実施日の最新のものを使用	¥1,728	2020/1/22	2020/2/5
	20公務員V問題集 労働法	TACオリジナル	2019		¥1,360		
統計・計量経済学	オリジナルレジュメ						2019/9/5
【WEB】刑法	公務員Vテキスト 刑法	TAC出版	2011	実施日の最新のものを使用	¥1,944	2019/11/14	2019/11/28
	20公務員V問題集 刑法	TACオリジナル	2019		¥1,360		
【WEB】商法	公務員Vテキスト 商法	TAC出版	2014	実施日の最新のものを使用	¥1,728	2019/12/25	2020/1/15
	20公務員V問題集 商法	TACオリジナル	2019		¥1,360		
【WEB】会計学	公務員Vテキスト 会計学	TAC出版	2011	実施日の最新のものを使用	¥2,160	2019/12/17	2020/1/7
	20公務員V問題集 会計学	TACオリジナル	2019		¥1,360		
	20会計学記述テキストレジュメ	TACオリジナル	2019		¥1,360		
【Web】労働基準監督官対策講義	200P労働基準監督官セミナーレジュメ	TACオリジナル	2019		¥1,360	2020/2/3	2020/2/17
【WEB】裁判所職員対策	200P裁判所一般職対策セミナーレジュメ	TACオリジナル	2019		¥1,360	2020/2/12	2020/2/26
数的処理上級演習	オリジナルレジュメ 2017、2018、2019年度本試験問題をレジュメの形で配布						2020/2/3
経済理論発展・総合職	オリジナルレジュメ						2019/10/3
国際経済学	オリジナルレジュメ						2020/2/20
財政学応用・経済政策	国家総合職2020年合格目標 財政学(理論)・経済政策問題集	早稲田セミナー	2018		¥2,160	2019/11/27	2019/12/11
経済史	オリジナルレジュメ						2020/2/22
統計・計量経済学応用	オリジナルレジュメ						2019/11/12
政策立案講義	オリジナルレジュメ						2019/10/20

※テキスト価格は予定です。 ※販売予定日は生協リンクショップでの販売日です。 ※販売開始日は遅れる場合がありますので、ご了承ください。

Syllabus

科目	一般知識(人文科学)
担当講師	橘 佳尚
回数(コマ数)	10回(20コマ)
必要な知識	初学者を対象
受講生の到達目標	各試験で70%の正答を目指す。

<講義内容>

人文科学の範囲は非常に広いものです。高校までに学習した日本史・世界史・地理をはじめ、思想・文学・芸術など科目数が多い上にそれぞれの科目の内容も、決して容易な学習で解答できるものばかりではありません。有効に学習を進めるために、試験傾向を徹底的に分析し、点数が取れるよう本講義で説明します。地方上級試験に出題される日本史・世界史の細かな論点は、別途地方上級対策講義で実施します。文芸分野は別途資料を配布し、対応ができるように致します。

第 1 回 1・2	【地理】・ケッペンの気候区分 ・様々な地形 ・農牧業の特徴 ・主要農産物と生産国
第 2 回 3・4	【地理】・世界の農牧業地域 ・鉱工業とエネルギー ・主要鉱工業地域
第 3 回 5・6	【地理】・アジア地誌 ・アフリカ地誌 ・ヨーロッパ地誌
第 4 回 7・8	【地理】 ・南北アメリカ地誌 ・オセアニア地誌
第 5 回 9・10	【思想】・古代ギリシア思想 ・経験論と合理論
第 6 回 11・12	【思想】・ドイツ観念論 ・功利主義とプラグマティズム
第 7 回 13・14	【思想】・現代思想 ・諸子百家
第 8 回 15・16	【世界史】世界史まとめ講義
第 9 回 17・18	【世界史】世界史まとめ講義・日本史まとめ講義
第 10 回 19・20	【日本史】日本史まとめ講義

Syllabus

科目	一般知識(自然科学)
担当講師	平井 俊久
回数(コマ数)	9回(18コマ)
必要な知識	初学者を対象
受講生の到達目標	各試験で70%の正答を目指す。

<講義内容>

自然科学の問題は、高校で学習した範囲が基本になっています。ある水準の事項を理解していれば合格に必要な点数が取れます。文系出身の人は敬遠しがちな科目ですが、化学・生物・地学は基本的に暗記系の科目です。数学、物理は別途webで開講します。

<講義予定>

第 1 回 1・2	【地学】・太陽系の天体 ・恒星の世界 ・気象と海洋
第 2 回 3・4	【地学】・地球の内部構造・重力 ・火山活動の様子 ・火成岩
第 3 回 5・6	【地学】・地震とエネルギー ・造山運動 ・大陸移動, 地球の歴史
第 4 回 7・8	【生物】・細胞, 発生・生殖, 遺伝 ・ATP ・酵素, 同化, 異化
第 5 回 9・10	【生物】・動物の恒常性 ・植物の恒常性 ・刺激と動物の反応
第 6 回 11・12	【生物】・動物の行動 ・生物の集団(生態系)
第 7 回 13・14	【化学】・化学式・化学量・化学反応式・気体の性質
第 8 回 15・16	【化学】・溶液の性質・化学反応・酸と塩基酸化と還元
第 9 回 17・18	【化学】・無機化合物・有機化合物・生活関連物質

Syllabus

科目	一般知識演習
担当講師	平井 俊久/橘 佳尚
回数(コマ数)	2回(6コマ)
必要な知識	初学者を対象
受講生の到達目標	各試験で70%の正答を目指す。

<講義内容>

一般知識分野の演習を行ないます。問題を解いていただき、解説講義を行ないます。人文科学、自然科学と分野を分けて実施します。

<講義予定>

第 1 回 1・2・3	一般知識演習(自然科学分野)
第 3 回 4・5・6	一般知識演習(人文科学分野)

Syllabus

科目	一般知識(地方上級対策)
担当講師	永田 幸三
回数(コマ数)	6回(12コマ)
必要な知識	一般知識(人文科学)を受講していること
受講生の到達目標	国家一般職、地方上級試験で70%以上の正答を目指す

<講義内容>

日本史、世界史の細かな論点をカバーする。
国家一般職、地方上級試験で出題される細かな論点も対応できるように実施する。

<講義予定>

第 1 回 1・2	【世界史】・古代ギリシア・ローマ ・中世西ヨーロッパ社会の誕生 ・十字軍と教皇権 ・ルネサンス
第 2 回 3・4	・宗教改革と地理上の発見・絶対王政・主権国家と市民革命・近代国家の成立
第 3 回 5・6	・列強の帝国主義 ・戦間期の世界情勢 ・戦後世界と冷戦 ・中国王朝史 ・イスラム世界
第 4 回 7・8	【日本史】・縄文, 弥生時代の生活様式 ・律令国家 ・荘園の変遷と武士の台頭 ・鎌倉時代
第 5 回 9・10	・執権政治 ・室町, 戦国時代 ・武断政治・文治政治 ・幕政改革 ・開国と討幕
第 6 回 11・12	・近代国家の幕開け・自由民権運動 ・日清, 日露戦争 ・政党政治と軍部の台頭 ・戦後の政治史

Syllabus

科目	数的処理
担当講師	李 相日
回数(コマ数)	18回(36コマ)
必要な知識	高 I 程度の数学の知識があれば、充分です。
受講生の到達目標	公務員試験に必要な基礎力を身につけ、試験合格への準備を整えること

<講義内容>

数的処理は、公務員試験の1次試験の合否を決める最重要分野です。講義では、ここで要求される問題に対する解法と、その解法につながる‘発想’を中心に講義したいと考えています。

<講義予定>

第 1 回 1・2	判断推理の基礎。判断テキスト第1・2章 対応関係
第 2 回 3・4	判断推理の基礎。判断テキスト第2・3章 対応関係の応用から、試合関係の問題へ
第 3 回 5・6	判断推理の基礎。判断テキスト第4・5章 順序・位置関係の問題処理について
第 4 回 7・8	判断推理の基礎。判断テキスト第4・5章 順序・位置関係の問題処理について
第 5 回 9・10	判断推理のメイン。判断テキスト第6・7・8章 真偽・論理・規則性の理屈と発想法について
第 6 回 11・12	判断推理の仕上げ。判断テキスト第9・10章 未知の問題に対する対処法について
第 7 回 13・14	数的推理。1・2章 速さ。まずは、従来の発想・考え方解き方との違いについて
第 8 回 15・16	数的推理。3・4章 割合系の問題
第 9 回 17・18	数的推理の頻出部分。5・6・7章 集合系・算数系・数学系の問題
第 10 回 19・20	数的推理の頻出部分。5・6・7章 集合系・算数系・数学系の問題
第 11 回 21・22	数的推理の最重要部分。整数系の問題の処理方法について
第 12 回 23・24	数的推理の最重要部分。整数系の問題の処理方法について
第 13 回 25・26	数的推理の仕上げ。確率系の問題処理の方法について
第 14 回 27・28	判断推理系の図形。まずは、図形の根本的な発想の仕方から
第 15 回 29・30	判断推理系の図形。パズル系・移動系の問題処理について
第 16 回 31・32	判断推理系の図形の最重要部。立体図形の見方・捉え方について
第 17 回 33・34	判断推理系の図形の最重要部。立体図形の見方・捉え方について
第 18 回 35・36	数的推理系の図形。計算系の問題処理をパターン化する

Syllabus

科目	数的処理演習
担当講師	李 相日
回数(コマ数)	7回(14コマ)
必要な知識	数的処理の基本的な問題を解けること
受講生の到達目標	本試験で合格するレベルに達すること

<講義内容>

初めの3・4コマで、いわゆる‘資料解釈’の講義を行い、その後、2018・2019年度本試験問題を用いた演習を行っていきたい。この演習を通じて、実際の問題に対し、テキストで学んだ解法がどのように、実践化されるのかを知り、実際の現場での応用力というものをつかんでもらいたい。

<講義予定>

第 1 回 1・2	資料解釈。数的処理以上に重要な所。
第 2 回 3・4	資料解釈。計算方法と問題分析を交えながら、問題演習を行う
第 3 回 5・6	2018年度の本試験問題(国家一般・国税)を用いた演習講座。
第 4 回 7・8	2018年度の本試験問題(裁事・都庁)を用いた演習講座。
第 5 回 9・10	2018・2019年度の本試験問題(特別区・国家一般)を用いた演習講座。
第 6 回 11・12	2019年度の本試験問題(国税・裁事)を用いた演習講座。
第 7 回 13・14	2019年度の本試験問題(都庁・特別区)を用いた演習講座。

Syllabus

科目	文章理解
担当講師	根岸 博之
回数(コマ数)	5回(14コマ)
必要な知識	きわめて基礎的な語学力
受講生の到達目標	試験の出題意図をふまえた、客観的な文章理解力を獲得する。

<講義内容>

これまで適切な対策を講じたことのない文章理解のテクニカルな解き方を実践し、得点源にしていく。「自己流」や「カン」に頼りがちな科目だが、その出題傾向と特性を理解し、確実に得点につながる手段など、少しでも得点を伸ばすための講義を進める。オリジナルテキストを使用し、試験種ごとの傾向をふまえて数多くの良問を提供する予定である。

<講義予定>

第 1 回	1・2・3	コマ	現代文 基本的な考え方と内容把握問題の基礎
第 2 回	4・5・6	コマ	現代文 内容把握問題応用・空欄補充問題・文章整序問題
第 3 回	7・8・9	コマ	英文 基礎的な英文理解の考え方と演習
第 4 回	10・11・12	コマ	英文 基礎と応用 照合問題の考え方など
第 5 回	13・14	コマ	難題への対応

Syllabus

科目	時事教養
担当講師	根岸 博之
回数(コマ数)	4回(12コマ)
必要な知識	公務員講座を受講し、かつ、教養の「社会科学」を学習済みであることが望ましい)
受講生の到達目標	時事問題に対し、背景の事情も含め完璧な対策を進めていく。論文作成時などにも活用できる時事知識の獲得をめざす。

<講義内容>

公務員試験の教養筆記対策で最重要と考えられている時事問題を詳細かつ丁寧に説明していく。出題予想も徹底して実施する予定なので積極的に参加してほしい。社会科学系の講義とあわせて受講を進めていくことが望ましく、事前に社会科学関係の教科を学習済みであることが必要となる。

<講義予定>

第 1 回	1・2・3 コマ	時事対策1 国内政治中心
第 2 回	4・5・6 コマ	時事対策2 国際政治中心
第 3 回	7・8・9 コマ	時事対策3 経済政策中心
第 4 回	10・11・12 コマ	時事対策4 社会問題(厚生、労働、科学技術、環境など)

Syllabus

科目	論文対策
担当講師	根岸 博之
回数(コマ数)	4回(12コマ)
必要な知識	一定の記述力、論理力、行政課題に関する基本知識
受講生の到達目標	論文試験での記述につながる時事知識の獲得と、論理力、記述力の定着。

<講義内容>

合格に向けて最大の難関とされている政策論文(教養論文)について、記述方法を説明するとともに、昨今の行政課題を簡潔にまとめることで、具体的な施策を考察することができるように配慮していく。公共政策学の基本的な視点の獲得も進めていきたい。また、職種、地域ごとの特性やこれまでの出題をふまえ、それぞれの試験対策を十分に進めることができるよう講義を行う。社会事情系の講義内容については単なる時事常識にとどまらず課題解決の指針も提示できるように配慮する。添削課題を提出する機会もあるので活用してほしい。

<講義予定>

第 1 回	1・2・3 コマ	公共政策学、公共経営学の説明、公務員の存在意義、行政サービス論
第 2 回	4・5・6 コマ	教養論文の書き方、政策の考え方① 少子高齢化など
第 3 回	7・8・9 コマ	教養論文の書き方、政策の考え方② 災害対策、教育、環境問題など
第 4 回	10・11・12 コマ	教養論文の書き方、政策の考え方③ 科学技術、NPOなど

Syllabus

科目	一般知識(数学・物理)
担当講師	【web】新垣 明
回数(コマ数)	6回(12コマ)
必要な知識	初学者を対象
受講生の到達目標	各試験で70%の正答を目指す。

<講義内容>

自然科学の数学、物理の範囲を実施します。文系の方は苦手意識をもたれますが、物理も知識のみで解ける問題が増えているので安心して下さい。

<講義予定>

第 1 回	1・2	【数学】・数と式 ・方程式と不等式集合
第 2 回	3・4	・簡単な関数とグラフ, 指数関数・対数関数 ・図形と式 ・三角比 ・三角関数
第 3 回	5・6	・数列 ・微分 ・積分
第 4 回	7・8	【物理】・運動と力
第 5 回	9・10	・運動とエネルギー ・波動 ・熱力学
第 6 回	11・12	・電気 ・コンデンサー ・磁気 ・原子

Syllabus

科目	社会科学
担当講師	【web】黒田/山本/小沼/瀬田
回数(コマ数)	20回(40コマ)
必要な知識	初学者を対象
受講生の到達目標	全ての試験において基礎能力試験社会科学分野において、8割以上の得点を目指す。

<講義内容>	
<p>教養科目における社会科学は、実施に出題された問題を見てみると、生半可な知識では解けない、専門分野の政治学や経済学、社会学といった科目と同じような内容のものも多く、甘く見ていると痛い目にあう事になります。ただ、根底にあるのは、高校で学習する政治・経済、倫理・社会です。必要以上に恐れる事ありません。社会科学という非常に広範な科目について、公務員試験の問題に対応できるように講義を行っていきます。</p>	
<講義予定>	
第 1 回	1・2 【法律】・法とは何か ・法の適用 ・日本国憲法の基本原理 ・日本国憲法と人権
第 2 回	3・4 【法律】・日本国憲法と人権
第 3 回	5・6 【法律】・日本国憲法と人権 ・日本の統治機構
第 4 回	7・8 【法律】・日本の統治機構 ・日本の地方自治
第 5 回	9・10 【法律】・行政法 ・民法 ・刑法
第 6 回	11・12 【政治】・政治学概論 ・政治制度論
第 7 回	13・14 【政治】・選挙制度論 ・政治過程論
第 8 回	15・16 【政治】・政治思想史
第 9 回	17・18 【政治】・行政学概論
第 10 回	19・20 【政治】・国際関係論概論
第 11 回	21・22 社会科学 演習
第 12 回	23・24 【経済】ミクロ経済学 ・無差別曲線 ・予算制約線 ・効用最大化 ・さまざまな無差別曲線
第 13 回	25・26 【経済】ミクロ経済学 ・需要曲線と供給曲線 ・需要の所得弾力性と価格弾力性 ・市場の失敗 ・リカードの比較生産費説
第 14 回	27・28 【経済】マクロ経済学 ・国民経済計算 ・国際収支統計
第 15 回	29・30 【経済】マクロ経済学 ・消費関数 ・総需要と総供給 ・投資関数 ・IS曲線
第 16 回	31・32 【経済】マクロ経済学 ・貨幣供給理論 ・金融政策 ・貨幣需要理論 ・LM曲線・IS-LM分析 ・古典派とケインジアン 財政学 ・財政理論 ・予算制度 ・租税 ・国債
第 17 回	33・34 社会科学 演習
第 18 回	35・36 【社会】労働問題
第 19 回	37・38 【社会】・社会保障 ・現代社会の諸問題
第 20 回	39・40 社会科学 演習

Syllabus

科目	憲法基礎
担当講師	富田 英修
回数(コマ数)	10回(20コマ)
必要な知識	憲法の知識がなくても受講できる。
受講生の到達目標	公務員試験合格に必要な基本的知識を身につける。

<講義内容>

条文・判例・通説に関する多肢選択式試験の頻出テーマを中心に、過去問を解くのに必要な基本的知識を身につけられる講義をする。併せて多肢選択式試験について、学説を使った論理問題についても、重要な点を指示する。使用テキストは六法・判例集・問題集を兼ねた形式にしているので、テキストだけ持ってくれば支障なく受講できる。テキストに載っている過去問を参照しながら講義をして、問題を解く感覚を身につけられるようにする。

<講義予定>

第 1 回 1・2	憲法の意義～人権の主体
第 2 回 3・4	基本的人権の制約～法の下での平等
第 3 回 5・6	思想良心の自由～表現の自由
第 4 回 7・8	表現の自由～職業選択の自由
第 5 回 9・10	財産権の保障～刑事手続の保障
第 6 回 11・12	参政権～教育を受ける権利
第 7 回 13・14	天皇・国会
第 8 回 15・16	国会・内閣
第 9 回 17・18	裁判所
第 10 回 19・20	財政・地方自治

Syllabus

科目	憲法応用
担当講師	富田 英修
回数(コマ数)	4回(8コマ)
必要な知識	憲法における基本的知識
受講生の到達目標	憲法全般の知識を身に付け、足りないところを自習により補えるようにする。

<講義内容>

基本的知識を有することを前提に、頻出以外のテーマについても講義をする。学習相談の時間まで使って確認テストを行い、質疑応答を行う。応用講座の段階で、憲法の問題集を1回終わった状態にする。現状を把握しながら、各自にあった自習ができるようにする。

<講義予定>

第 1 回 1・2	人権
第 2 回 3・4	人権
第 3 回 5・6	統治
第 4 回 7・8	統治

Syllabus

科目	憲法演習
担当講師	富田 英修
回数(コマ数)	2回(4コマ)
必要な知識	憲法全般における知識
受講生の到達目標	各自が、合格に必要な知識を適切な形で身に付けているかを確認して、足りないところを自習により補えられるようにする。

<講義内容>

多肢選択式試験について、本試験の傾向と2020年において注意すべき項目について説明・講義・確認テストを行う。演習講座の段階で、憲法の問題集を2回終わった状態にする。確認テストで現状を把握して、克服すべきテーマを明確にし、自習を効率よくできるようにする。知識に関する問題を中心にするが、論理問題についても、2020年で要注意なテーマについて講義をする。

<講義予定>

第 1 回 1・2	人権
第 2 回 3・4	統治

Syllabus

科目	民法基礎
担当講師	富田 英修
回数(コマ数)	20回(40コマ)
必要な知識	民法の知識がなくても受講できる。
受講生の到達目標	公務員試験合格に必要な基本的知識を身につける。

＜講義内容＞

総則から相続について、条文・判例・通説に関する多肢選択式試験の頻出テーマを中心に、過去問を解くのに必要な基本的知識を身につけられる講義をする。併せて学説を使った論理問題についても、重要な点を指示する。テキストは六法・判例集・問題集を兼ねた形式にしているため、テキストだけ持ってくれば支障なく受講できる。なお、学習相談を使って、レジュメを配布して、過去問の解きこみをするところがある。基礎講座の段階で、民法の頻出テーマに関して問題に慣れるようにする。

＜講義予定＞

第 1 回 1・2	総則
第 2 回 3・4	総則
第 3 回 5・6	総則
第 4 回 7・8	総則
第 5 回 9・10	総則
第 6 回 11・12	総則・物権
第 7 回 13・14	物権
第 8 回 15・16	物権
第 9 回 17・18	担保物権
第 10 回 19・20	担保物権
第 11 回 21・22	債権総論
第 12 回 23・24	債権総論
第 13 回 25・26	債権総論
第 14 回 27・28	債権総論
第 15 回 29・30	債権総論・債権各論
第 16 回 31・32	債権各論
第 17 回 33・34	債権各論
第 18 回 35・36	債権各論
第 19 回 37・38	債権各論
第 20 回 39・40	親族・相続

Syllabus

科目	民法応用
担当講師	富田 英修
回数(コマ数)	8回(16コマ)
必要な知識	民法における基本的知識
受講生の到達目標	民法全般の知識を身に付け、足りないところを自習により補えるようにする。

<講義内容>

基本的知識を有することを前提に、頻出以外のテーマについても講義をする。学習相談の時間を使って確認テストを行い、質疑応答を行う。現状を把握しながら、各自にあった自習ができるようにする。応用講座の段階で、民法の問題集を1回終わった状態にする。

<講義予定>

第 1 回 1・2	総則
第 2 回 3・4	総則
第 3 回 5・6	物権
第 4 回 7・8	担保物権
第 5 回 9・10	債権総論
第 6 回 11・12	債権総論
第 7 回 13・14	債権各論
第 8 回 15・16	債権各論

Syllabus

科目	民法演習
担当講師	富田 英修
回数(コマ数)	4回(8コマ)
必要な知識	民法全般における知識
受講生の到達目標	各自が、合格に必要な知識を適切な形で身に付けているかを確認して、足りないところを自習により補えるようにする。

<講義内容>

多肢選択式試験について、本試験の傾向と2020年において注意すべき項目について説明・講義・確認テストを行う。演習講座の段階で、民法の問題集を2回終わった状態にする。確認テストで現状を把握して、克服すべきテーマを明確にし、自習を効率よくできるようにする。知識に関する問題を中心にするが、論理問題についても、2020年で要注意なテーマについて講義をする。親族・相続についても、講義することがある。

<講義予定>

第 1 回 1・2	総則
第 2 回 3・4	物権・用益物権・担保物権
第 3 回 5・6	債権総論・債権各論
第 4 回 7・8	債権各論

Syllabus

科目	憲法・民法記述対策
担当講師	富田 英修
回数(コマ数)	4回(8コマ)
必要な知識	憲法および民法における全般的知識
受講生の到達目標	答案作成をするのに必要な知識と能力を身に付けて、実践できるようにする。

<講義内容>

レジュメを配布して、レジュメを中心にした講義を行う。国家専門職、裁判所職員の試験を念頭に行うが、希望が出れば、それ以外の試験についても対応した講義をする。試験ごとの出題形式及び答案作成方法を講義し、準備すべきテーマについて指示し、そのテーマを題材にして論文作成能力が付くように指導する。希望があれば、学習相談の時間を使って答案を作成させ、質疑応答を行う。作成された答案は添削して、返却する。

<講義予定>

第 1 回 1・2	憲法
第 2 回 3・4	憲法
第 3 回 5・6	憲法・民法
第 4 回 7・8	憲法・民法

Syllabus

科目	行政法
担当講師	橘 佳尚
回数(コマ数)	12回(24コマ)
必要な知識	初学者を対象
受講生の到達目標	国家一般職の試験を例とし、5問中3問以上の正答を目指す。

＜講義内容＞

行政法は他の主要法律科目である憲法・民法と異なり、専門用語が難解なため苦手意識をもつ受験生が多い科目です。行政法攻略のポイントは過去問で繰り返し問われている基本的知識をまず押さえることです。また行政法では特に条文のみならず「判例」の理解が不可欠です。本講義は具体例を多用し、判旨のみならず事案についても指摘し、行政法を得意科目にさせていただきます。

＜講義予定＞

第 1 回 1・2	・行政法とは何か ・法律による行政の原理 ・法律による行政の例外 ・行政行為の意義
第 2 回 3・4	・行政行為の効力 ・内容による分類 ・裁量の有無による分類 ・行政行為の附款
第 3 回 5・6	・瑕疵の有無による分類・取消しと撤回 ・行政手続法
第 4 回 7・8	・行政上の強制執行 ・行政罰 ・即時強制と行政調査 ・行政立法
第 5 回 9・10	・行政契約 ・行政計画 ・行政指導 ・国家補償
第 6 回 11・12	・国家賠償法1条論 ・国家賠償法2条論 ・損失補償
第 7 回 13・14	・行政事件訴訟法の全体像 ・取消訴訟の訴訟要件(1) ・取消訴訟の訴訟要件(2)
第 8 回 15・16	・取消訴訟の審理手続 ・訴訟の終了 ・主観訴訟 ・客観訴訟
第 9 回 17・18	・行政上の不服申立ての意義・行政不服審査法の諸制度 ・行政機関情報公開法
第 10 回 19・20	・行政機関個人情報保護法・行政上の法律関係 ・行政組織の基礎概念と国の行政組織・地方の行政組織
第 11 回 21・22	・行政法演習①②
第 12 回 23・24	・行政法演習③④

Syllabus

科目	経済理論Input
担当講師	平野 真武
回数(コマ数)	22回(46コマ)
必要な知識	中学レベルの数学の知識
受講生の到達目標	国家総合職法律区分の経済理論の問題、及び地方上級試験等の経済理論の問題を70%以上解けるようになる。

<講義内容>

経済理論は、数式モデルを用いて経済現象を分析するものである。大きく分類すると、ミクロ経済学とマクロ経済学に分かれている。ミクロ経済学は、財・サービスの取引を分析を行い、市場経済の効率性とその限界を学習していく。また、マクロ経済学は、一国全体の経済の振る舞いについて分析を行い、経済政策の効果等を学習している。

<講義予定>

第 1 回 1・2	ミクロ経済学:費用関数を用いた企業理論1
第 2 回 3・4	ミクロ経済学:費用関数を用いた企業理論2
第 3 回 5・6	ミクロ経済学:消費者理論1
第 4 回 7・8	ミクロ経済学:消費者理論2
第 5 回 9・10	ミクロ経済学:消費者理論3
第 6 回 11・12	ミクロ経済学:生産関数を用いた企業理論
第 7 回 13・14	ミクロ経済学:完全競争市場1
第 8 回 15・16	ミクロ経済学:完全競争市場2
第 9 回 17・18	ミクロ経済学:不完全競争市場1
第 10 回 19・20	ミクロ経済学:不完全競争2&市場の失敗1
第 11 回 21・22	ミクロ経済学:市場の失敗2&国際貿易論
第 12 回 23・24	マクロ経済学:国民所得統計
第 13 回 25・26・27	マクロ経済学:財市場の分析1
第 14 回 28・29・30	マクロ経済学:財市場の分析2&金融市場の分析1
第 15 回 31・32	マクロ経済学:金融市場の分析2&IS-LM分析1
第 16 回 33・34	マクロ経済学:IS-LM分析2&物価とインフレ1
第 17 回 35・36	マクロ経済学:物価とインフレ2
第 18 回 37・38	マクロ経済学:物価とインフレ3
第 19 回 39・40	マクロ経済学:物価とインフレ4&消費と投資
第 20 回 41・42	マクロ経済学:経済成長論1
第 21 回 43・44	マクロ経済学:経済成長論2&国際マクロ経済学1
第 22 回 45・46	マクロ経済学:国際マクロ経済学2

Syllabus

科目	経済理論実践演習(経済理論応用・実践演習)
担当講師	平野 真武
回数(コマ数)	7回(14コマ)
必要な知識	経済理論Inputと財政学の知識
受講生の到達目標	地方上級試験の応用問題を70%以上解けるようにする。

<講義内容>

地方上級試験の経済理論や財政学の問題では、他の試験よりも応用問題が出題される可能性が高い。この講義では、問題演習を通して初見の問題に対応する力を付けると同時に、応用問題を解くのに必要な知識のインプットも行う。

<講義予定>

第 1 回 1・2	ミクロ経済学:消費者理論の過去問演習
第 2 回 3・4	ミクロ経済学:企業理論と完全競争市場の過去問演習
第 3 回 5・6	ミクロ経済学:不完全競争市場と市場の失敗、国際貿易論の過去問演習
第 4 回 7・8	マクロ経済学:国民所得統計と財市場、金融市場の過去問演習
第 5 回 9・10	マクロ経済学:IS-LM分析、物価とインフレの過去問演習
第 6 回 11・12	マクロ経済学:消費と投資、経済成長論、国際マクロ経済学の過去問演習
第 7 回 13・14	財政学の過去問演習

Syllabus

科目	経済理論Output
担当講師	平野 真武
回数(コマ数)	10回(20コマ)
必要な知識	経済理論Inputの知識
受講生の到達目標	国家総合職法律区分の経済理論の問題、及び地方上級試験等の経済理論の標準的な問題を90%以上解けるようになる。

<講義内容>

経済理論の問題は、文章問題と計算問題に大別できる。文章問題の選択肢の論点を一つ一つ分解し、確認をしていくことで、理解を確実なものにしていく。また、計算問題は、問われる論点を網羅し、類似する問題をまとめて解くことで、論点の重要度や解法の相違点を理解していく。

<講義予定>

第 1 回 1・2	ミクロ経済学:消費者理論1
第 2 回 3・4	ミクロ経済学:消費者理論2
第 3 回 5・6	ミクロ経済学:完全競争市場
第 4 回 7・8	ミクロ経済学:完全競争市場
第 5 回 9・10	ミクロ経済学:不完全競争市場
第 6 回 11・12	ミクロ経済学:市場の失敗&国際貿易論
第 7 回 13・14	マクロ経済学:国民所得統計&財市場の分析
第 8 回 15・16	マクロ経済学:金融市場の分析&IS-LM分析
第 9 回 17・18	マクロ経済学:物価とインフレ&消費と投資
第 10 回 19・20	マクロ経済学:経済成長論&国際マクロ経済学

Syllabus

科目	経済理論記述対策
担当講師	平野 真武
回数(コマ数)	1回(2コマ)
必要な知識	経済理論基礎と財政学の知識
受講生の到達目標	国家専門職試験等の専門記述試験で合格点に到達する。

<講義内容>

国税専門官等の国家専門職試験や東京都庁等の過去問を概観し、出題形式や出題レベル、及び出題分野を説明する。その上で、専門記述の答案の作成方法や専門記述の学習方法を説明する。

<講義予定>

第 1 回 1・2	専門記述の学習方法、試験種別の出題分析
-----------	---------------------

Syllabus

科目	財政学・経済事情
担当講師	平野 真武/近藤 秀臣
回数(コマ数)	7回(16コマ)
必要な知識	【財政学】ミクロ経済学、マクロ経済学 【経済史・経済事情】高等学校初年時段階を目安とした日本及び西欧近現代史の基本的な「流れ」がイメージできれば望ましい。
受講生の到達目標	【財政学】国家総合職の財政学の問題、及び地方上級試験等の併願先の財政学の問題を70%以上解けるようになる。 【経済史・経済事情】最終段階として、法文系公務員試験の各種専門試験(及び教養試験)における「経済史」及び「経済事情」系科目において合格ラインに達すること。

<講義内容>

【財政学】財政学は、政府の活動のうち経済的な側面を分析する学問である。内容は、理論的なものと制度的なもの、データのものの3つ大別できる。特に国家財政制度や租税データなど制度的なものとデータのものは覚えなければならない、暗記をすることが大きな比重を占めている。その一方で、経済理論の知識を前提とした理論的な問題の解法も説明する。

【経済史・経済事情】公務員試験には科目によって独特の“出しグセ”があります。主として国家総合職試験・「経済史・経済事情」を中心に、国家一般職試験「財政学・経済事情」、及び地方上級試験「経済事情」等を選択予定の皆さんに、上記の“クセ”を踏まえて、「日本経済」「世界経済」の“いま”をできるだけ大きなパースペクティブの中でイメージを掴み、「白書」等の数値的な点も短期間で押さえ易くなるような講座展開を行って参ります。

<講義予定>

第 1 回 1・2	財政理論:国家財政1
第 2 回 3・4	財政理論:国家財政2
第 3 回 5・6	財政理論:租税理論
第 4 回 7・8・9	制度とデータ:国家財政制度
第 5 回 10・11・12	制度とデータ:租税制度&地方財政
第 6 回 13・14	経済事情Ⅰ～「経済財政白書」及び「日本経済2015-2016」を読む
第 7 回 15・16	経済事情Ⅱ～「世界経済の潮流Ⅰ」「世界経済の潮流Ⅱ」を読む

Syllabus

科目	経営学
担当講師	與原 裕介
回数(コマ数)	6回(12コマ)
必要な知識	初学者を対象
受講生の到達目標	国家一般職の試験を例とし、5問中3問以上の正答を目指す。

<講義内容>

公務員の業務は企業と関係するものも多く、公務員には企業経営に関する理解が求められています。経営学は広範な領域にまたがる学問であり、その全てを習得するのは困難といえますが、過去の出題傾向を徹底的に検討すると、その出題範囲はかなり限定されており、全般的に基本的事項の理解を問う問題がほとんどです。本講義では短期間で効率よく点数が取れる講義を実施します。

<講義予定>

第 1 回 1・2	・経営学の基礎概念 ・企業論
第 2 回 3・4	・伝統的管理論と人間関係論 ・行動科学的モチベーション論 ・近代組織論
第 3 回 5・6	・経営組織の基本構造と形態 ・その他の経営組織の形態 ・組織設計の理論
第 4 回 7・8	・経営戦略総論 ・企業戦略 ・多角化戦略 ・競争戦略 ・その他の経営戦略論
第 5 回 9・10	・国際経営論 ・日本的経営論 ・リーダーシップ論
第 6 回 11・12	・経営計画と統制 ・財務管理論 ・マーケティング論 ・過去問

Syllabus

科目	政治学
担当講師	吉田 耕平
回数(コマ数)	8回(16コマ)
必要な知識	初学者を対象
受講生の到達目標	国家一般職の試験を例とし、5問中3問以上の正答を目指す。

<講義内容>

政治系全体の基礎をつくる科目となります。公的な問題に望んで社会的公正や正義を実現するために、政治学は深く学習すべき科目です。本講義では単なる暗記学習にとどまることなく、問題演習も行い、政治制度や政治理論の深い理解も身に付けていただきます。

<講義予定>

第 1 回 1・2	・政治学の基礎 ・政治史(欧米史編)
第 2 回 3・4	・政治史(日本史編) ・議会 ・議院内閣制 ・大統領制
第 3 回 5・6	・各国の政治制度 ・選挙
第 4 回 7・8	・政治体制と政治変動・政党 ・圧力団体
第 5 回 9・10	・マスメディアと政治 ・政治意識と投票行動
第 6 回 11・12	・古代～近代までの政治思想 ・社会契約説 ・市民社会と自由主義 ・社会主義
第 7 回 13・14	・全体主義 ・民主主義 ・大衆社会論 ・現代政治学 ・国家と権力の理論
第 8 回 15・16	・演習

Syllabus

科目	行政学
担当講師	吉田 耕平
回数(コマ数)	6回(12コマ)
必要な知識	初学者を対象
受講生の到達目標	国家一般職の試験を例とし、5問中3問以上の正答を目指す。

<講義内容>

行政学の出題範囲はかなり限定されており、確実な知識さえ身につけておけば安定した得点源となりうる科目です。この講義で効率よく応用の効く知識を身につけていただきます。

<講義予定>

第 1 回 1・2	・行政学の基礎概念 ・欧州行政史, 行政学史概論 ・ウェーバーの官僚制論への批判
第 2 回 3・4	・米国行政史 ・行政学史概論 ・米国行政組織論の系譜 ・能率の概念
第 3 回 5・6	・行政組織設計論(概論) ・日本の行政組織 ・公務員人事制度論
第 4 回 7・8	・行政管理論 ・行政改革論 ・政策過程の理論
第 5 回 9・10	・日本の政策過程の実際 ・行政統制 ・行政責任論 ・行政参加論
第 6 回 11・12	・中央地方関係 ・日本の地方自治

Syllabus

科目	社会学
担当講師	吉田 耕平
回数(コマ数)	5回(10コマ)
必要な知識	初学者を対象
受講生の到達目標	国家一般職の試験を例とし、5問中3問以上の正答を目指す。

<講義内容>

社会学は日常語と同じでありながら特有の意味が込められた言葉や、耳慣れない用語が多数存在します。政治系全体の基礎をつくる科目となりますし、行政学や国際関係、社会政策を理解するためにも必要になってきます。学習の手順がカギとなる科目ですので本講義で効率よく学びましょう。

<講義予定>

第 1 回 1・2	・社会学とは ・傾向と対策 ・社会学の成立
第 2 回 3・4	・社会学の展開 ・機能主義社会学
第 3 回 5・6	・現代の社会学 ・文化の定義と諸類型 ・イデオロギー論
第 4 回 7・8	・階級, 階層と社会変動論 ・社会集団とコミュニケーションの諸理論
第 5 回 9・10	・家族と性の社会学 ・都市と地域の社会学 ・社会調査法

Syllabus

科目	国際関係
担当講師	吉田 耕平
回数(コマ数)	5回(10コマ)
必要な知識	初学者を対象
受講生の到達目標	国家一般職の試験を例とし、5問中3問以上の正答を目指す。

<講義内容>

「国際関係」という科目は、国際という語が示すとおり、諸国家・諸民族に関することであり、内容は非常に多岐にわたりますし、莫大な量を学習するよう見えます。しかしながら公務員試験に関しては、このうちの1部を学習するに過ぎませんので、まずは歴史的な動きをベースに世界を追っていきながら、各々の事件や事柄を理解します。単なる暗記では対処できない背景説明や関連する問題も説明します。

<講義予定>

第 1 回 1・2	・国際関係の基礎概念 ・近代国際関係の誕生 ・二つの世界大戦 ・冷戦の始まりと崩壊
第 2 回 3・4	・日本外交史 ・国際通貨体制と自由貿易体制 ・南北問題 ・国際連盟と国際連合 ・地域的国際機関
第 3 回 5・6	・国際通貨体制と自由貿易体制 ・南北問題 ・国際連盟と国際連合 ・地域的国際機関
第 4 回 7・8	・国際法概論 ・国際法と諸問題 ・近年の国際紛争
第 5 回 9・10	・リアリズムとリベラリズム ・構造主義 ・その他の理論

Syllabus

科目	社会政策
担当講師	吉田 耕平
回数(コマ数)	5回(10コマ)
必要な知識	初学者を対象
受講生の到達目標	各試験で70%の正答を目指す。

<講義内容>

社会政策は社会学の一分野で、社会学の中に含まれて出題されることもあれば、試験種によっては独立科目として扱われることがあります。また、政治学や行政学とも深いつながりを持ちます。内容としては、労働問題、福祉政策、格差問題、少子化問題などとそれら問題に対して打ち出されている政策を言います。出題傾向の分析と、労働経済・社会保障の最新の動向を説明します。論文試験の元ネタになる科目でもあるので論文対策としても強くお勧めします。

<講義予定>

第 1 回 1・2	・社会政策の概要 ・失業 ・雇用
第 2 回 3・4	・賃金 ・労働時間 ・労働政策の歴史と労使関係
第 3 回 5・6	・社会保障の歴史 ・公的扶助 ・社会福祉
第 4 回 7・8	・人口動態① ・少子化対策 ・年金保険
第 5 回 9・10	・人口動態② ・医療保険と介護保険 ・雇用保険と労災保険

Syllabus

科目	労働法
担当講師	井村 浩史
回数(コマ数)	4回(8コマ)
必要な知識	初学者を対象
受講生の到達目標	地方上級試験(全国型)を例とし、満点を目指す。 尚、労働基準監督官を目指す方は、必ず受講して下さい。

<講義内容>

労働法は、個別的労働関係と団体的労働関係を規律する法律です。公務員試験で問われているのは、重要な条文と重要な判例の理解です。覚える量は多くなく、効率的に点数が取れるように説明します。

<講義予定>

第 1 回 1・2	・労働法の意義 ・労働基準法の一般原則
第 2 回 3・4	・労働契約の成立と労働条件の決定 ・就業規則 ・賃金
第 3 回 5・6	・労働時間, 休日, 休憩, 年次有給休暇 ・労働関係の展開 ・労働契約の終了 ・年少者, 女性, 非典型雇用
第 4 回 7・8	・労働組合 ・団体交渉 ・労働協約 ・争議行為 ・不当労働行為 ・労働委員会等

Syllabus

科目	統計・計量経済学
担当講師	近藤 秀臣
回数(コマ数)	6回(16コマ)
必要な知識	ミクロ・マクロ経済学等の学習時に修得した基本的な数学的知識
受講生の到達目標	最終段階として、国家総合職・専門試験「統計・計量経済学」及び財務専門官試験「統計学」等の科目において合格ラインに達すること

<講義内容>

「統計」そして「統計学」というと、どこか“とっつきにくい”印象を持たれる方もいらっしゃるかと思います。しかし、“世の中”という一見捉えどころがありそうでないような存在を“見通す”ツールとして、「統計」は極めて有用なものとなっています。

そんな、「統計」そして「統計学」の“面白さ”をお伝えし、公務員試験特有の“出しグセ”を当然踏まえ、そこで必要十分な範囲での“使える”統計ツールのイメージを掴め、実際の計算方法も押さえ易くなれるような講座展開を行って参ります。

<講義予定>

第 1 回 1・2・3	統計学Ⅰ：ガイダンス～統計及び統計学とは/代表値(平均・分散etc)
第 2 回 4・5・6	統計学Ⅱ：代表値/相関係数と回帰直線
第 3 回 7・8・9	統計学Ⅲ：確率論/確率分布・統計分布の諸相Ⅰ
第 4 回 10・11・12	統計学Ⅳ：確率分布・統計分布の諸相Ⅱ
第 5 回 13・14	統計学Ⅴ：統計的推定とその具体的手法
第 6 回 15・16	統計学Ⅵ：統計的検定とその具体的手法

Syllabus

科目	刑法
担当講師	【WEB】富田 恒明
回数(コマ数)	5回(10コマ)
必要な知識	初学者を対象
受講生の到達目標	地方上級試験(全国型)を例とし、満点を目指す。

<講義内容>

刑法とは、犯罪と刑罰に関する法です。身近な法ではありますが、公務員試験の刑法は基本概念・条文・判例のみならず、学説まで問われる場合もあります。効率的な学習がカギです。

<講義予定>

第 1 回 1・2	・刑法の意義 ・罪刑法定主義 ・実行行為に関する諸問題 ・因果関係 ・違法性総論
第 2 回 3・4	・緊急行為 ・責任論総論 ・故意, 過失 ・未遂論 ・中止犯 ・共犯の意義
第 3 回 5・6	・共犯論の諸問題・生命, 身体に対する罪 ・自由, 私生活の平穩, 名誉, 信用に対する罪
第 4 回 7・8	・自由, 私生活の平穩, 名誉, 信用に対する罪・盗取罪 ・詐欺, 恐喝の罪
第 5 回 9・10	・横領, 背任の罪 ・社会的法益に対する罪 ・国家的法益に対する罪 ・罪数論

Syllabus

科目	商法
担当講師	【WEB】吉原 誠
回数(コマ数)	4回(8コマ)
必要な知識	初学者を対象
受講生の到達目標	国税専門官の試験を例とし、2問満点を目指す。

<講義内容>

会社法、手形・小切手法と学習すべき範囲が広く、その専門性・技術性ゆえに初学者にとって学習が容易ではないですが、本試験は基本的知識を端的に問う問題がほとんどです。効率的に点数が取れるように進めていきます。

<講義予定>

第 1 回 1・2	・会社法【全体像,会社の意義・種類,機関(株主総会～取締役会)】
第 2 回 3・4	・会社法【機関(代表取締役～取締役の責任・義務),会社法,株式資本(計算) 資金調達】
第 3 回 5・6	・会社法【会社の設立,組織変更・組織再編,商号,使用人,商業登記】 ・手形法【手形の意義・成立要件】
第 4 回 7・8	・手形法【他人による手形行為 ・手形行為の振出・裏書】

Syllabus

科目	会計学
担当講師	【web】伊東 明男
回数(コマ数)	11回(22コマ)
必要な知識	日商簿記3級程度の知識があることが望ましい
受講生の到達目標	国税専門官の試験を例とし、8問中5問以上の正答を目指す。

<講義内容>

会計学は範囲が膨大ですが、毎年のように出題されている分野もあり、基本的な部分をマスターしていくほうが高得点を望めます。講義では効率的に得点がとれるものを目指し、問題演習、記述対策も行います。本試験では会計学というよりも簿記の範囲の問題(計算問題・仕訳問題)が出題される事もあるため、日商簿記3級程度の知識があると望ましい。

<講義予定>

第 1 回 1・2	・会計学の基礎 ・財務諸表の基礎 ・一般原則(正規の簿記の原則～重要性の原則まで)
第 2 回 3・4	・資産会計総論 ・金融資産
第 3 回 5・6	・棚卸資産 ・有形固定資産
第 4 回 7・8	・無形固定資産 ・繰延資産 ・負債
第 5 回 9・10	・資本 ・損益会計の基礎
第 6 回 11・12	・収益会計 ・費用会計
第 7 回 13・14	・損益計算書 ・貸借対照表
第 8 回 15・16	・連結会計
第 9 回 17・18	・企業結合 ・外貨換算会計
第 10 回 19・20	・税効果会計 ・仕訳
第 11 回 21・22	・会計学演習

Syllabus

科目	労働基準監督官対策
担当講師	【web】 富田/瀬田
回数(コマ数)	6回(12コマ)
必要な知識	労働法、社会政策の講義を受講している事
受講生の到達目標	労働基準監督官 労働法・労働事情共に記述式論文を合格レベルにする。労働法は7問中5問の正答、労働事情5問中3問以上の正答を目指す。

<講義内容>

労働基準法・労働契約法・労働組合法は、労働法の講義で大丈夫。労働安全衛生法について、補足として主要なポイントを講義する。最低賃金法、パートタイム労働法、労働者災害補償保険法などの特別法を少々触れる。そして、答案作成のポイントを踏まえて講義する。

労働事情編では、労働事情に関するトレンドを感覚として体得するようにしておけばよい。最新版の労働経済白書には目を通すことが望ましいが、ポイントを踏まえたテキストをふまえて講義をする。

<講義予定>

第 1 回 1・2	・労働法
第 2 回 3・4	・労働法
第 3 回 5・6	・労働法
第 4 回 7・8	・労働法
第 5 回 9・10	・労働事情
第 6 回 11・12	・労働事情

Syllabus

科目	裁判所職員対策
担当講師	【web】 富田
回数(コマ数)	4回(8コマ)
必要な知識	基本講義 憲法・民法・刑法を受講している事
受講生の到達目標	裁判所一般職試験の上位合格を目指す

<講義内容>

裁判所一般職試験をターゲットに、過去の出題傾向を分析した講義を行う。
本対策講義は刑法がメインとなります。
民法、刑法は必ず通常の講義を受講した後に受講して下さい。

<講義予定>

第 1 回 1・2	【刑法】 総論・各論
第 2 回 3・4	【刑法】 財産犯全般
第 3 回 5・6	【刑法】 社会的法益・国家的法益 【民法】 民法前半のポイント整理 (総則・物権)
第 4 回 7・8	【民法】 民法後半のポイント整理 (債権法全般) 【憲法】 憲法記述 予想テーマ

Syllabus

科目	数的処理上級演習（アドバンスクラス）
担当講師	李 相日
回数(コマ数)	2回(4コマ)
必要な知識	基本的な問題を解けること
受講生の到達目標	国家総合職の問題レベルを知り, それに対処しうる解法を身に付けること

<講義内容>

2017～2019年度の国家総合の問題を使った演習講座を行う予定です。

<講義予定>

第 1 回 1・2	2017～2019年度の国家総合を用いた演習講座。
第 2 回 3・4	2017～2019年度の国家総合を用いた演習講座。

Syllabus

科目	経済理論発展・総合職（アドバンスクラス）
担当講師	平野 真武
回数(コマ数)	17回(34コマ)
必要な知識	経済理論Inputと経済理論Outputの知識
受講生の到達目標	国家総合職を経済区分の経済理論の問題を70%以上解けるようになる。

<講義内容>

国家一般職や地方上級レベルの内容を踏まえた上で、国家総合職の経済区分の経済理論の問題に対応することを目的とする。国家総合職の経済職の問題は他の試験種より問題のレベルが高く、かつ出題範囲も広くなるため、専用の対応が必要になる。合格者の多くは国家総合職が第1志望であり、このレベルさえクリアすれば合格しやすい試験である。過去問を完全に潰すことにより、最終合格を勝ち取れる講義を行う。

<講義予定>

第 1 回 1・2	ミクロ経済学:消費者理論1
第 2 回 3・4	ミクロ経済学:消費者理論2
第 3 回 5・6	ミクロ経済学:企業理論
第 4 回 7・8	ミクロ経済学:完全競争市場
第 5 回 9・10	ミクロ経済学:不完全競争市場
第 6 回 11・12	ミクロ経済学:市場の失敗
第 7 回 13・14	マクロ経済学:国民所得統計&財市場の分析&金融市場の分析1
第 8 回 15・16	マクロ経済学:金融市場の分析2&IS-LM分析
第 9 回 17・18	マクロ経済学:物価とインフレ1
第 10 回 19・20	マクロ経済学:物価とインフレ2
第 11 回 21・22	マクロ経済学:消費と投資
第 12 回 23・24	マクロ経済学:経済成長論
第 13 回 25・26	専門記述対策1
第 14 回 27・28	専門記述対策2
第 15 回 29・30	専門記述対策3
第 16 回 31・32	専門記述対策4
第 17 回 33・34	専門記述対策5

Syllabus

科目	国際経済学（アドバンスクラス）
担当講師	平野 真武
回数(コマ数)	4回(12コマ)
必要な知識	ミクロ経済学とマクロ経済学
受講生の到達目標	国家総合職を経済区分の国際経済学の問題のうち3問中2問を解けるようになる。

<講義内容>

国総合職の経済区分の国際経済学に対応するための講義である。国際経済学はミクロ経済学の応用である国際貿易論とマクロ経済学の発展分野である国際マクロ経済学に分けられる。どちらも、ミクロ経済学とマクロ経済学の知識を前提に講義を進めるため、講義開始までにこれらをしっかりと復習して講義に臨んで欲しい。

<講義予定>

第 1 回 1・2・3	国際貿易論:国際貿易論の基本事項&ヘクシャー・オリーンモデル1
第 2 回 4・5・6	国際貿易論:ヘクシャー・オリーンモデル2&貿易政策の理論
第 3 回 7・8・9	国際貿易論:過去問解説&国際マクロ経済学:為替レートの理論1
第 4 回 10・11・12	国際マクロ経済学:経済政策の理論

Syllabus

科目	財政学応用・経済政策（アドバンスクラス）
担当講師	平野 真武
回数(コマ数)	5回(10コマ)
必要な知識	地方上級レベルの問題が解ける経済学と財政学の知識
受講生の到達目標	国家総合職を経済区分の財政学・経済政策の問題を70%以上解けるようになる。また、専門記述の財政学に必要な知識を理解する。

<講義内容>

ミクロ経済学とマクロ経済学、及び財政学の知識を踏まえ、国家総合職の経済区分用に出題される財政学・経済政策の問題に対応するように、過去問の解説を中心に講義を行う。また、2次試験の専門記述にも対応するために必要な知識のインプットも同時に説明する。

<講義予定>

第 1 回 1・2	財政理論1
第 2 回 3・4	財政理論2 & 租税理論1
第 3 回 5・6	租税理論2
第 4 回 7・8	経済政策1
第 5 回 9・10	経済政策2

Syllabus

科目	経済史（アドバンスクラス）
担当講師	近藤 秀臣
回数(コマ数)	2回(6コマ)
必要な知識	高等学校初年時段階を目安とした日本及び西欧近現代史の基本的な「流れ」がイメージできれば望ましい。
受講生の到達目標	最終段階として、法文系公務員試験の各種専門試験(及び教養試験)における「経済史」(及び「経済事情」)系科目において合格ラインに達すること

<講義内容>

公務員試験には科目によって独特の“出しグセ”があります。主として国家総合職試験・「経済史・経済事情」を選択予定の皆さんに、上記の“グセ”を踏まえて、「日本経済」「世界経済」の“いま”，そしてその“いま”を成立させてきた“歴史”について、できるだけ大きなパースペクティブの中でイメージを掴み易くなるような講座展開を行って参ります。なお、専門試験のみならず教養試験「人文科学」の「日本史」「世界史」の両分野、及び「社会科学」の「経済」分野においても本分野は出題されますので、教養試験での“上乘せ”を図りたい方にも受講をお勧め致します。

<講義予定>

第 1 回 1・2・3	日本経済史
第 2 回 4・5・6	西欧経済史

Syllabus

科目	統計・計量経済学応用（アドバンスクラス）
担当講師	近藤 秀臣
回数(コマ数)	5回(12コマ)
必要な知識	ミクロ・マクロ経済学等の学習時に修得した基本的な数学的知識
受講生の到達目標	最終段階として、国家総合職・専門試験「統計・計量経済学」及び財務専門官試験「統計学」等の科目において合格ラインに達すること

<講義内容>

ベーシックコースでの学習内容を踏まえ、その総復習を行うとともに、国家総合職を主たる進路と考えておられる皆さんを対象として、経済学の諸理論の検証を行うための有用なツールとして「統計学」を応用する「計量経済学」に相当する領域を中心に学習を深めて参ります。

<講義予定>

第 1 回 1・2	統計学総復習
第 2 回 3・4	計量経済学Ⅰ：単回帰分析とその周辺Ⅰ
第 3 回 5・6	計量経済学Ⅱ：単回帰分析とその周辺Ⅱ・重回帰分析とその周辺Ⅰ
第 4 回 7・8・9	計量経済学Ⅲ：重回帰分析とその周辺Ⅱ・同時方程式モデル 等
第 5 回 10・11・12	計量経済学総復習

Syllabus

科目	政策立案講義（アドバンスクラス）
担当講師	近藤 秀臣
回数(コマ数)	5回(12コマ)
必要な知識	特になし(中学校「公民」及び高等学校「現代社会」「政治・経済」もしくは「倫理」のうち1科目以上の基礎知識があればより望ましい)
受講生の到達目標	最終段階において、各種公務員試験における「小論文」及び「面接」「集団討論」、特に国家総合職試験「政策論文」及び「政策課題討議」、さらには「官庁訪問」等において高評価を獲得しうるような政策的思考力の基礎を涵養する。

<講義内容>

「政策」—「よくコトバは耳にするけど、何かつかみどころがないよね…」「何だかよくわからないうちにどこかで決められて、押し付けられてる感じってあるよね…」etc.「政策」という存在は、どこか、日常生活からかけ離れた、それでいてしっかりと取り囲まれている何だか奇妙なモノ…という印象を持たれがちです。しかし例えば、食品や水、建築物などの「安全性」をいちいち確認せずとも、多くの場合“安全”にそれらが使えるのも、教育機関や道路が利用できるのも、実のところすべて「政策」の産物なのです。本講義では、将来何らかの形で「政策」の直接の担い手となる「公務員」を目指す皆さんに、その「政策」に関する基礎的な見方・考え方、分析手法や立案手法等をご紹介し、公務員試験においていわば「政策的思考力」ひいては「政策立案力」を問われるような、上記の「到達目標」に書かせて頂いた各種の試験(その典型が国家総合職「政策論文」試験です)を突破し、かつ特にそのレベルが高度なものとなる国家総合職「官庁訪問」等においても高評価を獲得して頂くための基礎力の涵養を目指す講義展開を予定しています。

<講義予定>

第 1 回 1・2・3	「行政」とは何か:その存在理由, その構造と機能, 行政内部及び民間部門等の他セクタとの役割分担や相互関係について 等
第 2 回 4・5・6	「政策」とは何か I (総論篇):その存在理由, その「担い手」と「手段」の諸相, いわゆる「政策プロセス」の在り方について 等
第 3 回 7・8・9	「政策」とは何か II (各論篇):近年の我が国における代表的な「政策」に係るケーススタディとその分析及び“次善の策”の検討 等
第 4 回 10・11	「政策論文」対策 I :その傾向と対策, 重要過去問研究(添付資料の読解を含む), 試験委員研究, 「予想問題」配布 等(「政策課題討議」の研究も含む)
第 5 回 12	「政策論文」対策 II :「予想問題」フォローアップ, その他の重要出題予想テーマの検討 等